

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月10日実施)	総合評価 (3月17日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	① 生徒の特性や地域の実情を踏まえながら、単位制の利点を生かしたカリキュラム・マネジメントに取り組む。 ② 生徒の学習意欲の向上を図るとともに、基礎学力の定着と思考・判断・表現力を養うため授業改善の一層の推進を図る。	① アクティブラーニング型授業を効果的に進め、生徒の学習意欲の向上を図るとともに、知識・技能のみならずジェネリックスキルについての育成にも取り組む。	① 教員相互の授業見学(2ヶ月間)や研究授業等により、アクティブラーニング型授業の研究に取り組む、授業改善を図る。	① 生徒アンケートの「主体的に学ぶ」・「コミュニケーション能力」の項目の「高まった」が80%以上になったか。	① 新着任者に対するアクティブラーニング型授業の研修を実施した。昨年度と同様一定の割合で授業の中でアクティブラーニングが実施できている。 全職員対象の「深い学び」を意識したアクティブラーニング研究の取組を研究授業を中心に行うことができた。	① 11月の「深い学び」を意識したアクティブラーニング型授業の研究の取り組みを検証する。 引き続きICT機材等を使ったアクティブラーニング研修会を実施して、授業改善に取り組む。	① アクティブラーニングに関して、教科の特徴を活かした様々な取組が実施されている。 「深い学び」に関して、具体的にどのように取り組むのかを提示する必要がある。 授業評価に関して更に分析をし、授業や生徒対応に活かしてほしい。	① 学校全体としての取組であるアクティブラーニングに関して、職員全体に対して有効な研修会を多く実施することができた。 今後は、どのようにグループワークの活性化を図り、「深い学び」につなげていくかが課題である。	① 今年度より取り組んでいる「リーダーシップ教育」を授業でも活用することにより、アクティブラーニングの視点に基づく授業実践の活性化を図る。
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	① 部活動の一層の活性化を図るとともに、部活動を通じたリーダーシップ教育を推進する。 ② 教育相談体制をさらに充実させ、組織的な生徒支援を行う。	① 部活動の入部率を昨年度より3%以上の上昇を目標にし、全校で90%以上の加入率を目指す。	① 5月の連休明けに入部していない1年次生、夏季休業が終わった段階で未加入及び退部した生徒を対象に入部説明会等、加入推進の働きかけを行い加入率アップを目指す。	① 部活動の入部率が90%以上になったか。	① 5月の段階では入部率90.3%で達成はできたが、夏休み以降、退部等で未加入の生徒が多少出てきた。	① 夏休み以降で再加入のイベントを行い、未加入の生徒への加入推進を行なう。9月及び12月に実施。(9月86%、12月87.6パーセント)今後3月にも実施予定である。	① 部活動の加入率が約90%であることは評価できる。高校生活を充実させるためにも、高い数値を目指してほしい。	① 部活動説明会や再加入イベントを実施することで、目標に近い数字を達成することができた。未加入生徒へのアプローチの仕方が課題である。	① 部活動説明会及び再加入のイベント内容の充実を図る
3 進路指導・支援	① 生徒の課題発見力・課題解決力を高め、キャリア育成を図る。 ② 個々の生徒の進路希望実現のためきめ細やかな支援を組織的に行う。 ③ これからの社会を担い、積極的に社会参加する生徒の能力と態度を育成する。	③ キャリア教育の一環として政治参加教育について、外部機関と連携し体験的な取組を実施する。	③ 各学年ごとに、外部機関及び講師による講演等を実施し、政治に対する意識の高揚を図る。また、組織的に模擬投票に取り組む。	③ シチズンシップ教育を通じて、生徒の政治参加への意識が高まった生徒が、全3年次生の50%以上になったか。	③ 藤沢市選管の協力で、意識啓発のための講演会を全校生徒対象に実施した。そのうち3年次生で、7月の参院選前の模擬投票により政治的関心が「(どちらかというと)高まった」と回答した生徒は59%であった。	③ 模擬投票を実施しても、政治に関する家族との会話は増えておらず、投票に行こうという気持ちにも繋がっていないという調査結果が出ている。政治参加に関する講演会の内容を再検討するとともに、公民等教科の授業でも生徒の意識を高めるための工夫について検討していきたい。	② 3年次生だけではなく、1、2年次生への意識啓発の取組は評価できる。今後は教科指導を含め、学校全体で取り組む必要がある。	③ 全年次に対して、政治参加に関する意識啓発を行なうことができた。今後は、学校全体の取り組みとして、計画的に実施することが課題である。	④ 年間行事計画及び教科の年間指導計画に組み入れ等、位置づけの明確化を検討する。

4	地域等との協働	<p>① 地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。</p> <p>② ボランティア活動等を通して、地域と連携した教育活動を推進する。</p>	<p>① 地域貢献活動の計画的実施と地域連携の一層の推進を図る。</p> <p>② 生徒によるボランティア活動の充実を図る。</p>	<p>① 旧モーガン邸の保全活動・土嚢作り・地域清掃を3本柱にした計画を立て、10月実施に向けて準備を整える。</p> <p>② 「アジサイまつり」「藤沢宿場まつり」等の地域イベントへ生徒会役員・ボランティア部・委員が積極的に参加する体制づくりを確立させる。</p>	<p>① 地域貢献活動が計画的に実施できたか。</p> <p>② 生徒によるボランティア活動への参加件数が3件以上増えたか。</p>	<p>① 予定通り実施できた。生徒の積極的な姿勢が見られた。</p> <p>② 昨年同様、積極的な参加状況が見られた。</p>	<p>① 3本柱となる計画の充実を図り、よりよいものにしていく。</p> <p>② 参加状況は十分なので、一般生徒への報告や成果などを発表する機会を検討したい。</p>	<p>① 地域に開かれた学校として、定着しつつあるが、更に地域への学校活動の情報発信をより充実させる必要がある。</p> <p>② 参加者が昨年度より増加したことは評価できる。今後も充実した取組を期待したい。</p>	<p>① 地域貢献活動の3本柱については、生徒の意識も高くほぼ定着している。活動の充実を図るためにも、清掃活動等の検討が課題である。</p> <p>② ボランティア活動に関しての、生徒への啓発等がしっかり行えたことによりボランティアに対する意識の向上が見られた。</p> <p>部や委員会等の活動だけでなく一般生徒の参加及び具体的な成果発表の場の提供が課題である。</p>	<p>① 新たな取組のねらいに沿ったものとなるよう、グループ・年次で検討する機会を設定するとともに、ホームページの充実や刊行物の地域への提供等を行う。</p> <p>② 様々な機会を通して、ボランティア活動への啓発を行い、グループ・年次で発表を行う機会を検討する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 教育環境の整備に努め、安全安心で、明るい学校づくりを推進する。</p> <p>② 事故・不祥事防止を徹底し、職員が前向きに取り組める、風通しの良い職場づくりを推進する。</p>	<p>① 日常的に元気の良い「挨拶」が飛び交うように心がけ、明るい学校づくりに努める。</p>	<p>① 週一回定期的に生徒会役員が中心となり「あいさつ運動」を定着させる。また、委員会・部活動の生徒も巻き込んで「あいさつ運動」の拡大を計画する。</p>	<p>① 挨拶をする生徒が、80%以上になったか。</p>	<p>① ほとんど生徒が挨拶をできる環境が整っており、外部の来校者からもよい評判を得ている。</p>	<p>① 挨拶運動の推進で委員会や部活動が参加する計画を検討していきたい。</p>	<p>① 多くの生徒が明るく挨拶をする習慣が校内で確実に定着している。今後は、更に地域をまきこんだ計画等を実施してほしい。</p>	<p>① 日常的に明るく元気の挨拶が交わされており、本校の校風の一つとして定着してきている。今後は、委員会・部活動等の参加を広く呼びかけ「あいさつ運動」を地域に広めていくような取組を実施することが課題である。</p>	<p>① 三校交流事業等、地域関連行事との連携等を模索する。</p>